



震災 25 年キャンペーンプロジェクト

神戸大学附属中等教育学校DR3活動報告書



テーマ

「震災(Disaster)・復興(Reconstruction)・減災(Reduction)・レジリエンス(Resilience)の担い手となるためのDR3による研究・交流活動」

目的

高校生グループによる研究活動を通して震災(Disaster)・復興(Reconstruction)・減災(Reduction)・レジリエンス(Resilience)の担い手となるために、被災地訪問や学校交流、テレビ会議による交流、防災学習プログラムへの企画・実践や発表を通して、大規模震災に対するリスクマネジメントについて多角的な視点から学ぶ。

- ①身近な地域に起こった、あるいは今後起こるであろう自然災害と被災者の思いについて学ぶ
- ②震災の記憶や教訓をどのように後世に伝えていくかを考える
- ③人文科学・自然科学の両面から震災を捉え、理解する
- ④校内で実施される年2回の防災学習を生徒が企画し、主体的に進行することで防災・減災の担い手となる意欲や知識、経験をする
- ⑤公立中学校にメンバーが出向き、相手校生徒を対象に防災学習を実施する
- ⑥上記の活動を通して、他を思いやり、地域と共生することのできる生徒を共に目指すことを主たる目的とする。

1 年間活動報告

- ①毎月3月曜日昼休み DR3 ミーティングとグループ別研究
 - テーマA 地域コミュニティの実態調査と地域連携の課題
 - B 校内防災学習プログラム(6月)の企画と進行
 - C 校内防災学習プログラム(1月)の企画と進行
 - D 防災学習プログラムと教材の開発
 - ②毎月2(3)金曜日放課後 多賀城高等学校とZoom会議による交流
 - ・防災をテーマにした課題研究について互いに支援と助言
 - ・宮城教育大学とNEC ネットエスアイが共同開発しているテレビ会議システム“Zoom-Zoom”の開発に協力
 - ・開催日 6月21日, 7月12日※, 8月23日, 10月18日, 11月8日
12月13日, 2月14日
- ※第2回より滋賀県立守山高等学校が参加

- ③6月20日 校内防災学習
- ④6月31日 宮城県多賀城高等学校から生徒4名と教員1名が来校
 - ・1年間の活動計画について意見交換
- ⑤8月26日 滋賀県立危機管理センター訪問
 - ・滋賀県の危機対応についての講演
 - ・滋賀県立守山高等学校生徒会4名と避難訓練について意見交換
- ⑥11月21日 尼崎市立武庫東中学校での防災学習出前授業
 - ・DR3メンバー4名が出向き、相手校2・3年生11名に対して3種類の防災学習を実施
 - ・尼崎市立小・中学校教員研修として実施の様子を公開
- ⑦12月2日 宮城教育大学・小針教授来校
 - ・Zoom会議システム利用の課題と今後について意見交換
- ⑧1月16日 校内防災学習の計画と進行
 - 1年生 クロスロード, 2年生 ハザードマップの活用(本校教材)
 - 3年生 アクションカードゲーム, 4年生 ハザードマップの活用(多賀城)
 - 5年生 アクションカードゲーム
- ⑨1月24-26日 宮城研修プログラム
 - ・「東日本大震災メモリアル day 2019」でのポスター発表
 - ・各地域の震災遺構フィールドワーク
- ⑩3月17日 交流3校での課題研究発表会
 - ・Zoom会議システムを利用
 - ・多賀城高校4テーマ、守山高等学校1テーマ、本校2テーマ

2 連携機関

- ①宮城県多賀城高等学校・生徒会
- ②宮城教育大学
- ③滋賀県立守山高等学校・生徒会
- ④尼崎市立武庫東中学校・生徒会
- ⑤NEC ネットエスアイ

3 活動例

①宮城研修プログラム(2020年1月24-26日)

1/24(金)	1/25(土)	1/26(日)
1. 石巻市と女川町のフィールドワーク ・タクシー研修 2. 多賀城高等学校交流 ・両校課題研究の発表 ・交流方法の意見交換	「東日本大震災メモリアル day 2019」 ・被災地スタディツアー 旧荒浜小学校 ・基調講演 ・ワークショップ	「東日本大震災メモリアル day 2019」 ・ポスターセッション ・講評 ・多賀城街歩き 都市型津波の被害を実感

②DR3 各活動の様子

		
<p>写真 1 : Zoom 会議 月 1 回開催</p>	<p>写真 2 : 多賀城来校 ワークショップ</p>	<p>写真 3 : 滋賀危機管理センター 見学と守山高校交流</p>
		
<p>写真 4 : 校内防災学習① 1 年 : ハザードマップづくり</p>	<p>写真 5 : 校内防災学習② 2・4・5・6 年 : クロスロード</p>	<p>写真 6 : 校内防災学習③ 3 年 : ハザードマップの活用</p>
		
<p>写真 7 : 出前授業① 尼崎市立武庫東中学校</p>	<p>写真 8 : 出前授業② 尼崎市立武庫東中学校</p>	<p>写真 9 : 石巻・女川訪問 被災地タクシー研修</p>
		
<p>写真 10 : メモリアル day① 震災遺構・旧荒浜小学校</p>	<p>写真 11 : メモリアル day② 本校のポスター発表</p>	<p>写真 12 : メモリアル day③ 都市津波多賀城街あるき</p>

4 メンバー生徒の所感

○尼崎市立武庫東中学校での防災学習出前授業

私は尼崎在住で、武庫東中学校も身近な学校でした。防災授業の準備をするにあたって、家にハザードマップなど尼崎の防災に関する資料があったので、地元に沿った準備ができました。その方が、きっと抵抗なくみんなで考えることができると思いました。

せっかくの授業で、こちらの話ばかりでは退屈になるだろうし、やはり目的は身近な問題として受け止めてほしいということが一番の願いでした。そして他校と交流することで、お互いの防災意識を高めたと感じています。校内で他学年に防災学習をしたことはありましたが、初めて他校で防災授業をして、受け入れてもらえるか緊張しました。このような、校外でも活動も増えていけたらいいと思います。（5年生女子）

○校内防災学習の計画と進行

本校の防災学習は生徒主体で行っていますが、ここ数年は内容が単調化してきたため、新たな防災学習の開発が求められていました。そこで3年生を対象にした独自の防災学習を計画し、6月20日に実施しました。

本校は六甲山の中腹に位置しており、土砂災害警戒区域に指定されています。その対処方法を学ぶことのできるプログラムを考案しました。大半の生徒が通学時に使用しているバス車内で地震が発生したという想定で、地震により土砂災害の危険性が高まっている前兆現象を見聞きした時にどのような行動をするのか考えるというプログラムです。

自分で授業を進めることで、どうすれば防災に関心をもってもらうか、どのように進行すれば効果的に学べるか、について深く考えることで、自身の防災意識が今まで以上に高まりました。（5年生女子）

○DR3活動を通して

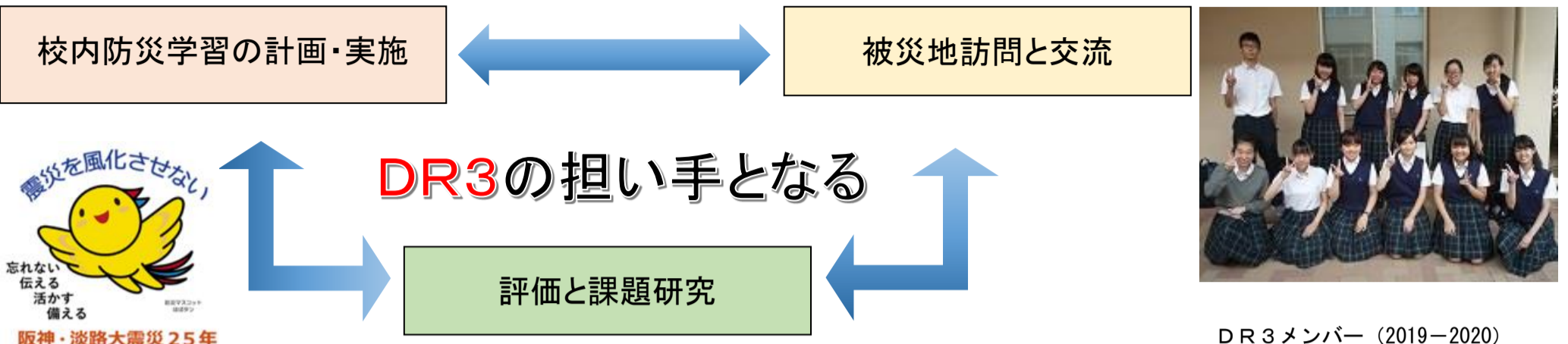
宮城県の高賀城高校と滋賀県の守山高校とは、月1回のZoom会議で防災に関する取り組みを交流しています。一言に「防災」といえども、高賀城高校は東日本大震災の復興住宅、守山高校は避難訓練や行政の防災、本校は校内外での防災学習というように各校で活動は様々ですが、その1つ1つが興味深く、お互いに質問や意見を言い合うことで、自分たちの活動に活かせるような学びにつながることも多くありました。また、2校の方には個人の課題研究のアンケートにも協力していただきました。加えて、3月と8月には守山高校の生徒3名と実際に会って交流しました。このような年間を通しての他校との交流だからこそ得られる学びがあると感じています。（5年生女子）

5 成果と課題

主体的な減災防災活動を通して、生徒一人ひとりが減災防災の担い手となることを目指して様々な活動プログラムを年間通じて実施した。2年目となるZoom会議による定期交流は、互いのメンバーの親交を深めることが当初の目的であったが、後半は課題研究の成果を発表したことで、次年度の他実践校との交流可能性を拡げることとなった。メンバーによる年2回の校内防災学習企画進行は校内で定着し、前期生徒の中からも活動参加を希望する声があがった。内容がパターン化しているため、避難所運営など地域との連携を含めた新しい教材開発が求められる。また、地域の中学校に出向いて防災学習をレクチャーした貴重な体験の中で、防災課題の地域差を認識する機会となった。

震災(Disaster)・復興(Reconstruction)・減災(Reduction)・レジリエンス(Resilience)

兵庫県 震災 25 年若者キャンペーンプロジェクト奨励事業



校内防災学習の計画・実施

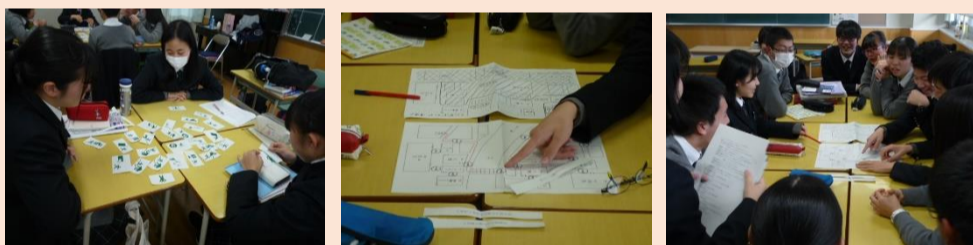
2019年6月

1年ハザードマップづくり 2・4・5・6年クロスロード 3年災害シミュレーション



2020年1月

1年クロスロード 2・4年オリジナル(多賀城高校連携)DIG



3・5年減災カードゲーム(本校オリジナル+スライド)



被災地訪問と交流

宮城研修(2020年1月)

石巻・雄勝町 メモリアルdayで発表 多賀城 都市型津波散策



学校交流

Zoom会議(毎月1回) 滋賀守山高校が来校 滋賀危機管理センター訪問



尼崎市立武庫東中学校へ出前授業(2019年11月)



校内防災学習を再現

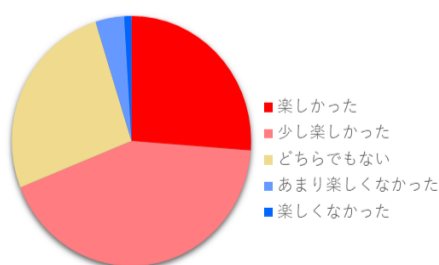
ハザードマップ作りの様子

評価と課題研究

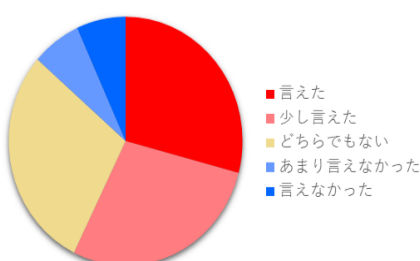
A. 防災学習(2020.1)

4年生3クラス
アンケート結果より
一部抜粋

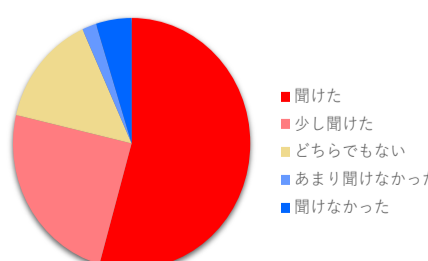
考えることは楽しかったか



自分の意見を言えたか



他人の意見を聞けたか



B. 他校との交流や被災地訪問での調査や経験を生かした課題研究

○ 高校生の防災意識の現状と向上に向けた提案
～宮城、滋賀、兵庫の高校2年生を対象にしたアンケートの考察から～
(2019 高2)

<現状>

- ・将来地震が発生していると思っている人は約9割
- ・日々防災を意識していない人が約4割、防災の備えを取り組んでいない人が約5割
- ➡より災害や防災を身近に現実的に感じ、危機管理能力を上げる必要性
- ➡震災の経験や教訓を風化させないような活動
- ・宮城では、バイアスにより被災地に同程度の津波はこないと考えている

<提案>

- ・学校と地域の関係の活発化
- ・最新の科学情報を共有